

令和3年度 事業報告

連盟は、日本におけるバイアスロン競技を統轄する団体として、その役割を深く認識し、本連盟加盟都道府県連、日本オリンピック委員会及び日本スポーツ協会、日本スポーツ振興センター、スポーツ庁等との連携を強化するとともに、関係諸団体の支援・協力を得て、次の諸事業を実施した。

1 選手強化活動事業・次世代アスリート事業・海外優秀コーチ設置事業

JOC 選手強化事業補助金を活用して、シニア・ジュニア・ユース選手を対象に、海外大会での成果獲得を目的とした国内強化合宿を始めとして第1回海外合宿～ワールドカップ・IBU カップ大会、ユース・ジュニア世界選手権等への派遣事業を行い、競技力の向上を図った。

(1) 選手強化活動事業 決算合計額 81,531千円

コロナ禍の中で感染防止に十分配慮しつつ、前半は北京オリンピック出場枠を獲得するために、また後半は国別ランキングを左右するネーションポイントの獲得及び個人のクオリファイポイント獲得のためチーム一丸となって各種大会に臨んだ。

その結果、北京 2022 オリンピック冬季大会への参加枠として惜しくも男子が直前のワールドカップで悲願の4名出場を僅差で逃し2名出場となったが（前回平昌大会は1名出場だったため1名増ではあった）、女子は4名の出場枠を獲得し個人種目に加えてリレー種目への参加も果たすことができた。

2021年度の最終的な国別順位は女子は17位から18位と順位を一つ落としてしまったが、男子は22位から17位と大幅に順位を上げることが出来た。

個人の最高順位は、男子（枋木司選手）がワールドカップ第1戦インディビジュアルで9位という好成績を収めることができた。

また、女子は立崎英由子選手がワールドカップ第1戦インディビジュアルで17位を獲得した。

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
第1回国内強化合宿	北海道（白金温泉）	2021年6月17日～6月26日（10日間）	2	4
第3回国内強化合宿	岩手県（八幡平市田山地区等）	2021年8月24日～9月10日（18日間）	3	5
第1回海外強化合宿	ドイツ、オーストリア、イタリア、スロベニア、フィンランド	2021年6月1日～10月21日（143日間）	4	1

一般社団法人日本バイアスロン連盟

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
第3回海外強化合宿、IBU ワールドカップ大会第1戦～第10戦、北京オリンピック冬季大会、IBU カップ第1戦～第8戦、IBU オープンヨーロッパ選手権	フィンランド、スウェーデン、オーストリア、フランス、ドイツ、イタリア、中国、ベラルーシ、エストニア、ノルウェー、ポーランド、スロバキア、スイス	2021年10月22日～2022年3月22日（152日間）	12	15
感染症対策事業		通年		
新生活様式選手強化活動事業		通年		

(2) 次世代アスリート事業 決算合計額24,004千円

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
第1回国内強化合宿(ユニバシアード)	東京都	2021年7月22日～7月27日（6日間）	2	6
第2回国内強化合宿(ユニバシアード)	北海道	2021年8月7日～8月16日（10日間）	2	6
第3回国内強化合宿(ユニバシアード)	長野（木島平）	2021年8月24日～9月7日・9月14日～9月21日（23日間）	2	7
第4回国内強化合宿(ユニバシアード)	北海道	2021年9月23日～10月4日（12日間）	3	6
第5～7回国内強化合宿(ユニバシアード)	北海道（白金温泉）	2021年12月1日～12月30日（うち22日間）	3	14

一般社団法人日本バイアスロン連盟

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	事業名
第3回海外強化合宿(ユニバシ アード) ※ユニバシアード冬季大会は コロナウィルス感染拡大の影響 で中止	フィンランド、ス ウェーデン、オー ストリア、フラン ス、ノルウェー	2021年10月22日～ 12月10日(71日 間)	3	4
事前海外強化合宿、IBU ユー ス・ジュニア世界選手権大会	アメリカ	2022年2月10日～3 月5日(24日間)	2	5

(3) 海外優秀コーチ設置事業 決算合計額 3,240千円

2022年北京冬季オリンピック大会に成果を収めるために、海外から優秀コーチを招致し、ナショナルチーム各グループに関するWC開催地組織委員会との宿泊及びコロナ対策の調整、IBU各種大会への選手登録及び大会参加エントリー方法、スタッフ及び選手へのコーチング、ナショナルチーム各グループの合宿先調整等々の指導を受けた。

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
優秀コーチ設置		通年	1	

(4) 発掘・育成事業 決算合計額 1,252千円

年間を通して継続的に事業を進めて来ている成果が表れ、スキー走力と射撃技術の向上に繋がってきている。特にスキー走力に関して元々クロスカントリースキー経験が無いユース・ジュニア達が中体連等に参加して実力を上げて来ている。今後は継続してスキー走力のあるユース・ジュニアに対してもバイアスロン射撃講習会を実施してバイアスロン競技への参加者を増やして行きたい。

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況
【くじ助成事業】 2021年度北海道バイアスロンジュ ニア育成事業	北海道	2021.6.13～ 2022.2.13	14回 延べ84人

2 アスリートパスウェイ委託事業 決算予定額1,978千円

2021年度は第1期生としてタレントを3名発掘することができ、2022年度に向けて今年度中3月21日に第2期生の発掘選考会を実施した(選考の結果、合格基準を満たしている者は2名であった)。

一般社団法人日本バイアスロン連盟

また、競技の基本教本（バイアスロンハンドブック）及びハンドブックの内容を映像化した教材の制作という取り組みは、本事業でしかなし得なかった成果であった。

事業名	月日	場所	参加数（名）
令和3年度「アスリートパスウェイの戦略的支援」委託事業（競技別コンソーシアムによる地域パスウェイの整備）	2021.04.01- 2022.3.31	札幌市～岩手 県八幡平市	3人 (+候補2人)

3 競技運営事業 決算額19,315千円

JSC 事業補助金を活用して、下記の事業を開催した。

事業名	月日	場所	参加数（名）
【くじ助成事業】 第33回サマーバイアスロン日本選手権大会	2021.10.03- 10.5	札幌市豊平区西 岡	シニア・ジュニア・ユース他 28名
【くじ助成事業】 第31回東日本バイアスロン選手権大会	2022.1.21～ 1.23	八幡平市田山バ イアスロン競技 場	延べ52人
第58回バイアスロン日本選手権大会	2022.2.27-3.11	札幌市豊平区西 岡	シニア・ジュニア・ユース他 78名
第93回宮様国際競技会バイアスロン競技	2022.3.4-3.7	札幌市豊平区西 岡	シニア・ジュニア・ユース他 78名
【くじ助成事業】 第18回西日本バイアスロン選手権大会	参加者や大会スタッフの感染拡大防止及び安全確保を図る必要から、開催を中止した。		

4 アンチ・ドーピング事業 決算額228千円

JSC 事業補助金を活用して、日本フェアネス機構の実施したサマーバイアスロン日本選手権大会・第58回バイアスロン日本選手権大会におけるドーピング検査に対して連盟から NRef（窓口担当・付添）を派遣した。併せて、サマーバイアスロン日本選手権・西日本選手権において、強化選手・スタッフに対するアンチ・ドーピング教育を2回行った。西日本選手権大会における講習会はコロナウィルスの影響により中止した。

一般社団法人日本バイアスロン連盟

事業名	期間	場所	備考
【くじ助成事業】 ドーピング検査事業	1) 2021. 10 2) 2022. 3	札幌市豊平区西岡	NFRep 派遣各 1 名
アンチ・ドーピング教育啓 発事業	1) 2021. 10 2) 2022. 1	1) 札幌市豊平区西岡 2) 岩手県八幡平市	延べ 70 人

5 NTC 事業 決算予定額 17,618 千円

西岡競技場及び同地域周辺に対する競技別強化拠点に対する各種事業（選手強化のための施設・周辺地域の環境整備）を行い、国別順位に寄与した。

事業名	期間	場所
競技別強化拠点機能強化事業	通年	札幌市豊平区西岡

7 組織運営 決算額 2,717 千円

(1) ガバナンス強化事業

今年度上期は「ミッション・ステートメント」を広く社会に普及・浸透することを目的とし、『ミッションステートメントビジュアル BOOK』を制作した。＜世界に通じるジャパネスク＞をコンセプトに編集・デザインし、日本バイアスロンの未来に向かう世界観を表現するものとなった。

下期は、『ビジュアル BOOK』を戦略的ツールとし、「2030 年までにバイアスロンを国体種目に！」をキャッチコピーに、日本各地を巡回し、PF を拡張するムーブメントをスタートした。「Mission Cruise」と題し、6 回のクルーズを展開した。

事業名	月日	場所	実施数
【くじ助成事業】 ガバナンス強化事業	通年	兵庫～関東	6 回

(2) ガバナンスコードの策定・公表

スポーツ庁が行う「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」に伴うガバナンスコードの更新・公表を行った。